

(別冊) (案)

平成18年度  
決算報告書

平成18年 4月 1日から

平成19年 3月31日まで

〒150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1

社団法人 全日本テコンドー協会

## 平成18年度 事業報告

定款に掲げる目的を達成するため、以下の諸事業を実施した。

### <各種競技会の開催>

#### 2006 全日本ジュニアテコンドー選手権大会

開催期間：平成18年7月23日

開催地：長野県 松本市 総合体育館

都道府県代表の小学生から高校生までが参加し、男女別・体重別に区別した個人戦で行われた。参加者数248名。

#### 2006 全日本テコンドー選手権大会

開催期間：平成18年12月10日

開催地：神奈川県 横浜市 横浜市立大学体育館

参加者数93名。

#### 2007 全日本学生テコンドー選手権大会

開催期間：平成18年2月12日

開催地：兵庫県 神戸市 神戸市立中央体育館

参加者数172名。

#### 2007 全日本テコンドーブムセ選手権大会

兼 第2回世界テコンドーブムセ選手権大会代表選考会

開催期間：平成19年3月4日

開催地：埼玉県 入間市 入間市武道館

参加者数全日本選手権126名、世界選手権選考会15名

### <国際競技大会への派遣>

#### 第17回アジア選手権大会

開催期間：平成18年4月21日～4月23日

開催地：タイ パンコク

派遣人数：役員7名、選手12名

この大会には33カ国272名の選手が参加し、女子ウェルター級岡本依子が銅メダル、男子フィン級内村剣吾がベスト8と健闘した。

第9回世界学生選手権大会

開催期間：平成18年5月16日～5月20日

開催地：スペイン バレンシア

派遣人数：役員2名、選手8名

FISU主催の大会であり、44カ国217名の選手が参加し、女子フライ級山路藍選手が銅メダルを獲得した。

第6回世界ジュニア選手権大会

開催期間：平成18年7月26日～30日

開催地：ベトナム ホーチミン

派遣人数：役員8名、選手15名

世界テコンドー連盟主催のジュニア大会。

第1回世界プムセ選手権大会

開催期間：平成18年9月4日～9月6日

開催地：韓国 ソウル

派遣人数：役員1名、選手11名

世界テコンドー連盟主催のプムセ(型)大会。男子シニア1で松田隆史選手が6位入賞

第15回アジア競技大会

開催期間：平成18年12月1日～12月15日

開催地：カタール ドーハ

派遣人数：役員1名、選手1名

この大会はJOC派遣事業であり、女子フライ級山路藍がベスト8(5位入賞)

WTF 電子防具国際テコンドー選手権大会

開催期間：平成19年3月4日～3月5日

開催地：韓国 春川

派遣人数：役員3名、選手4名

WTF主催による大会。今後の公式大会にて使用が検討されている電子式防具での採点が行われた。男子-58kg級内村剣吾が金メダル、男子-68kg級樋口清輝が銀メダル、男子-80kg級李裕鎮がベスト8。

<国内外強化合宿>

2006 強化指定選手選考会

開催期間：平成18年9月10日

開催地：東京都台東区台東リバーサイドスポーツセンター

主管：東京都テコンドー協会

参加者数：51名

2006 第1回国内強化合宿

開催期間：平成18年10月1日～4日

開催地：東京都北区国立スポーツ科学センター

参加者数：役員10名、強化指定選手26名

2006 第1回海外強化合宿

開催期間：平成18年11月13日～17日

開催地：韓国ソウル国立体育大学

参加者数：役員5名、強化指定選手10名

2006 第2回国内強化合宿

開催期間：平成19年1月21日～25日

開催地：東京都北区国立スポーツ科学センター

参加者数：役員11名、強化指定選手25名、強化委員会参考選手8名

上記の合宿を実施

<医・科学サポートの実施>

2006 強化指定選手メディカルフィットネスチェック

開催期間：平成18年11月20日～21日

開催地：東京都北区国立スポーツ科学センター

参加者数：強化指定選手28名

上記の他、強化合宿開催時に各種メディカルフィットネス講習会を実施

## 貸借対照表

平成19年 3月31日現在

社団法人 全日本テコンドー協会  
一般会計

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	2,820,552	0	2,820,552
現 金	30,126	0	30,126
普 通 預 金	2,790,426	0	2,790,426
未 収 会 費 金	220,000	0	220,000
前 払 金	138,000	0	138,000
流動資産合計	3,178,552	0	3,178,552
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産引当預金	20,000,000	0	20,000,000
基本財産合計	20,000,000	0	20,000,000
(2) 特定資産			
選手強化積立資産	2,000,000	0	2,000,000
特定資産合計	2,000,000	0	2,000,000
固定資産合計	22,000,000	0	22,000,000
資産合計	25,178,552	0	25,178,552
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未 払 金	578,789	0	578,789
前 受 金	300,000	0	300,000
預 り 金	61,351	0	61,351
流動負債合計	940,140	0	940,140
負債合計	940,140	0	940,140
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	20,000,000	0	20,000,000
(うち基本財産への充当額)	( 20,000,000)	( 0)	( 20,000,000)
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	4,238,412	0	4,238,412
(うち特定資産への充当額)	( 2,000,000)	( 0)	( 2,000,000)
正味財産合計	24,238,412	0	24,238,412
負債及び正味財産合計	25,178,552	0	25,178,552

# 正味財産増減計算書

平成18年 4月 1日から平成19年 3月31日まで

社団法人 全日本テコンドー協会  
一般会計

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[ 11,200]	[ 0]	[ 11,200]
受取入金	[ 70,000]	[ 0]	[ 70,000]
受取会費	[ 3,320,000]	[ 0]	[ 3,320,000]
事業収益	[ 10,792,530]	[ 0]	[ 10,792,530]
受取会費	10,051,530	0	10,051,530
講習会費	426,000	0	426,000
昇級申請料	315,000	0	315,000
受取補助金等	[ 419,988]	[ 0]	[ 419,988]
受取寄付金	[ 9,925,000]	[ 0]	[ 9,925,000]
受取寄付金	8,100,000	0	8,100,000
受取協賛金	1,825,000	0	1,825,000
雑収益	[ 581,331]	[ 0]	[ 581,331]
受取利息	3,831	0	3,831
雑収益	577,500	0	577,500
経常収益計	25,120,049	0	25,120,049
(2) 経常費用			
< 事業費 >	[ 22,718,309]	[ 0]	[ 22,718,309]
大会開催事業費	( 6,728,065)	( 0)	( 6,728,065)
世界ジュニア選考会	481,074	0	481,074
全日本ジュニア選手権	1,926,584	0	1,926,584
全日本新人選手権	1,180,353	0	1,180,353
全日本選手権	1,143,916	0	1,143,916
全日本学生選手権	1,192,390	0	1,192,390
世界プムセ選考会	803,748	0	803,748
強化合宿事業費	( 5,161,757)	( 0)	( 5,161,757)
海外特別強化合宿費	1,982,466	0	1,982,466
国内強化合宿費	3,179,291	0	3,179,291
国際大会派遣事業費	( 8,108,039)	( 0)	( 8,108,039)
アジア選手権派遣費	2,829,464	0	2,829,464
世界学生選手権派遣費	2,314,000	0	2,314,000
世界ジュニア選手権派遣費	922,151	0	-922,151
世界プムセ選手権派遣費	1,474,555	0	1,474,555
電子防具選手権派遣費	567,869	0	567,869
普及・育成・研修事業費	( 292,500)	( 0)	( 292,500)
旅費	258,900	0	258,900
賃借料	33,600	0	33,600
強化対策費	( 806,000)	( 0)	( 806,000)
賃借料	2,000	0	2,000
雑役員業務費	804,000	0	804,000
一般事業費	( 1,621,948)	( 0)	( 1,621,948)
渡滞航費	632,438	0	632,438
滞在費	262,142	0	262,142
会議費	2,300	0	2,300
旅費	331,400	0	331,400
通信費	17,395	0	17,395
消耗品費	49,800	0	49,800
印刷製本費	29,400	0	29,400
賃借料	65,040	0	65,040
保険料	5,500	0	5,500
諸謝	45,000	0	45,000

## 正味財産増減計算書

平成18年 4月 1日から平成19年 3月31日まで

社団法人 全日本テコンドー協会  
一般会計

科 目	当年度	前年度	増 減
雑 費	181,533	0	181,533
管 理 費	[ 7,648,339]	[ 0]	[ 7,648,339]
人 件 費	3,050,982	0	3,050,982
事 務 諸 費	4,597,357	0	4,597,357
経常費用計	30,366,648	0	30,366,648
当期経常増減額	△ 5,246,599	0	△ 5,246,599
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 5,246,599	0	△ 5,246,599
一般正味財産期首残高	9,485,011	0	9,485,011
一般正味財産期末残高	4,238,412	0	4,238,412
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	20,000,000	0	20,000,000
指定正味財産期末残高	20,000,000	0	20,000,000
III 正味財産期末残高	24,238,412	0	24,238,412

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 会計方針の変更

当年度より新公益法人会計基準を適用している。

### 3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
小 計	20,000,000	0	0	20,000,000
特定資産				
普通預金	0	2,000,000	0	2,000,000
小 計	0	2,000,000	0	2,000,000
合 計	20,000,000	2,000,000	0	22,000,000

### 4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充当 額)	(うち一般正 味財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	20,000,000	(20,000,000)	(0)	(0)
小 計	20,000,000	(20,000,000)	(0)	(0)
特定資産				
普通預金	2,000,000	(0)	(2,000,000)	(0)
小 計	2,000,000	(0)	(2,000,000)	(0)
合 計	22,000,000	(20,000,000)	(2,000,000)	(0)

### 5. 関連当事者との取引

該当事項なし



## 財産目録

平成19年 3月31日現在

社団法人 全日本テコンドー協会  
一般会計

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	2,820,552	
現金手許有高	30,126	
普 通 預 金	2,790,426	
りそな銀行・参議院支店	2,790,426	
未 収 会 費	220,000	
その他	220,000	
前 払 金	138,000	
流動資産合計		3,178,552
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
基 本 財 産 引 当 預 金	20,000,000	
りそな銀行・参議院支店	20,000,000	
基本財産合計	20,000,000	
(2) 特定資産		
選 手 強 化 積 立 資 産	2,000,000	
りそな銀行・参議院支店	2,000,000	
特定資産合計	2,000,000	
固定資産合計		22,000,000
資産合計		25,178,552
II 負債の部		
1. 流動負債		
未 払 金	578,789	
社会保険料	23,022	
その他	555,767	
前 受 金	300,000	
預 り 金	61,351	
源泉	20,670	
雇用	17,839	
社会保険	22,842	
流動負債合計		940,140
負債合計		940,140
正味財産		24,238,412

# 収支計算書

平成18年 4月 1日から平成19年 3月31日まで

社団法人 全日本テコンドー協会  
一般会計

科 目	予算額	決算額	差 異
<b>I 事業活動収支の部</b>			
<b>1. 事業活動収入</b>			
基本財産運用収入	[ 14,000]	[ 11,200]	[ 2,800]
入金	[ 0]	[ 70,000]	[△ 70,000]
会費収入	[ 4,010,000]	[ 3,320,000]	[ 690,000]
事業収入	[ 9,210,000]	[ 10,792,530]	[△ 1,582,530]
受取会費収入	9,210,000	10,051,530	△ 841,530
講習会費収入	0	426,000	△ 426,000
昇級申請料収入	0	315,000	△ 315,000
補助金等収入	[ 1,000,000]	[ 419,988]	[ 580,012]
寄付金収入	[ 8,100,000]	[ 9,925,000]	[△ 1,825,000]
寄付金収入	5,000,000	8,100,000	△ 3,100,000
協賛金収入	3,100,000	1,825,000	1,275,000
雑収入	[ 610,000]	[ 581,331]	[ 28,669]
受取利息	5,000	3,831	1,169
雑収入	605,000	577,500	27,500
事業活動収入計	22,944,000	25,120,049	△ 2,176,049
<b>2. 事業活動支出</b>			
< 事業費支出 >	[ 20,174,000]	[ 22,718,309]	[△ 2,544,309]
大会開催事業費支出	( 8,823,000)	( 6,728,065)	( 2,094,935)
世界ジュニア選考会	729,000	481,074	247,926
全日本ジュニア選手権	1,044,000	1,926,584	△ 882,584
全日本新人選手権	1,676,000	1,180,353	495,647
アジア大会選考会	621,000	0	621,000
全日本選手権	1,679,000	1,143,916	535,084
全日本学生選手権	1,552,000	1,192,390	359,610
世界プムセ選考会	1,522,000	803,748	718,252
強化合宿事業費支出	( 5,940,000)	( 5,161,757)	( 778,243)
海外特別強化合宿費支出	2,610,000	1,982,466	627,534
国内強化合宿費支出	3,330,000	3,179,291	150,709
国際大会派遣事業費支出	( 3,512,000)	( 8,108,039)	(△ 4,596,039)
アジア選手権派遣費支出	408,000	2,829,464	△ 2,421,464
世界学生選手権派遣費支出	432,000	2,314,000	△ 1,882,000
世界ジュニア選手権派遣費支出	1,312,000	922,151	389,849
世界プムセ選手権派遣費支出	1,360,000	1,474,555	△ 114,555
電子防具国際選手権派遣費支出	0	567,869	△ 567,869
普及・育成・研修事業費支出	( 553,000)	( 292,500)	( 260,500)
会議費支出	47,000	0	47,000
旅費交通費支出	400,000	258,900	141,100
通信運搬費支出	20,000	0	20,000
消耗品費支出	16,000	0	16,000
印刷製本費支出	20,000	0	20,000
賃借料支出	50,000	33,600	16,400
ドレッシング検査費支出	( 1,346,000)	( 0)	( 1,346,000)
通信運搬費支出	21,000	0	21,000
消耗品費支出	103,000	0	103,000
諸謝金支出	175,000	0	175,000
委託費支出	1,047,000	0	1,047,000
強化対策費支出	( 0)	( 806,000)	(△ 806,000)
賃借料支出	0	2,000	△ 2,000
雑役務費支出	0	804,000	△ 804,000
一般事業費支出	( 0)	( 1,621,948)	(△ 1,621,948)
渡航費支出	0	632,438	△ 632,438

# 収支計算書

平成18年 4月 1日から平成19年 3月31日まで

社団法人 全日本テコンドー協会  
一般会計

科 目	予算額	決算額	差 異
滞 在 費 支 出	0	262,142	△ 262,142
会 議 費 支 出	0	2,300	△ 2,300
旅 費 交 通 費 支 出	0	331,400	△ 331,400
通 信 運 搬 費 支 出	0	17,395	△ 17,395
消 耗 品 費 支 出	0	49,800	△ 49,800
印 刷 製 本 費 支 出	0	29,400	△ 29,400
賃 借 料 支 出	0	65,040	△ 65,040
保 險 料 支 出	0	5,500	△ 5,500
諸 謝 金 支 出	0	45,000	△ 45,000
雑 支 出	0	181,533	△ 181,533
管 理 費 支 出	[ 9,550,000]	[ 7,648,339]	[ 1,901,661]
人 件 費 支 出	6,200,000	3,050,982	3,149,018
事 務 諸 費 支 出	3,350,000	4,597,357	△ 1,247,357
事業活動支出計	29,724,000	30,366,648	△ 642,648
事業活動収支差額	△ 6,780,000	△ 5,246,599	△ 1,533,401
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
特 定 資 産 取 得 支 出	[ 0]	[ 2,000,000]	[△ 2,000,000]
選 手 強 化 積 立 資 産 繰 入 支 出	0	2,000,000	△ 2,000,000
投資活動支出計	0	2,000,000	△ 2,000,000
投資活動収支差額	0	△ 2,000,000	2,000,000
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	[ 1,051,561]	—	[ 1,051,561]
当期収支差額	△ 7,831,561	△ 7,246,599	△ 584,962
前期繰越収支差額	7,831,561	9,485,011	△ 1,653,450
次期繰越収支差額	0	2,238,412	△ 2,238,412

## 収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収会費及び前払金並びに未払金、前受金及び預り金を含めている。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	8,740,660	2,820,552
未収会費	1,580,000	220,000
前払金		138,000
合 計	10,320,660	3,178,552
未払金		578,789
前受金	371,000	300,000
預り金		61,351
合 計	371,000	940,140
次期繰越収支差額	9,949,660	2,238,412

監査  
下  
石川 聖太郎

## 監査報告書

社団法人 全日本テコンドー協会

会長 衛藤 征士郎 殿

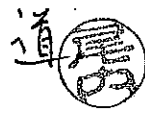
平成 19 年 5 月 30 日

社団法人 全日本テコンドー協会

監事 石川



監事 辰内正道



私たちは、平成 18 年度（平成 18 年 4 月 1 日から平成 19 年 3 月 31 日まで）における会計及び業務の監査を行い、次の通り報告する。

### 1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿ならびに関連書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

### 2. 監査意見

- (1) 財務諸表（貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録）及び収支計算書は、会計帳簿の記載金額と一致し法人の収支状況及び財政状態を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は事実であると認める。
- (3) 理事の業務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上

# 独立監査人の監査報告書

平成19年5月28日

社団法人全日本テコンドー協会  
会長 衛藤征士郎 殿

東邦監査法人

指定社員

公認会計士

杉浦康雄



業務執行社員

指定社員

公認会計士

三宅啓之



業務執行社員

当監査法人は、社団法人全日本テコンドー協会の平成18年4月1日から平成19年3月31日までの平成18年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録並びに収支計算書（以下「財務諸表等」という。）について監査を行った。この財務諸表等の作成責任は理事者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表等に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。ただし、社団法人全日本テコンドー協会は平成18年度から初めて監査を受けることとなったので、収支計算書に対する注記に記載されている次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳のうち前期末残高については、未監査の財務諸表等に基づき記載されている。

監査の結果、当監査法人の意見は次のとおりである。

- (1) 財務諸表は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、社団法人全日本テコンドー協会の平成18年度末日現在の財政状態並びに同年度の正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。
- (2) 収支計算書は、「公益法人会計における内部管理事項について」（平成17年3月23日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ）に従って、社団法人全日本テコンドー協会の平成18年度の収支の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

社団法人全日本テコンドー協会と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上